

平成29年度第2回経営協議会議事要旨

日 時 平成29年11月29日（水）13時00分～15時05分
場 所 北海道教育大学岩見沢校大会議室
出席者 学外委員：今井、柿沼、蔵本、立川、高橋、松岡
学内委員：蛇穴、佐川、阿部、横山、石川
オブザーバー：高橋（教）、中尾、西原
欠席者 学外委員：小野寺

◎ 学長業績評価結果

学長から、学長選考会議において実施された学長の業績評価の結果を踏まえ、現在の取組や今後の対応について、報告があった。

◎ 経営協議会委員名簿の更新等

学長から、資料1に基づき、平成29年10月1日付け人事異動に伴い、新たに経営協議会委員となった理事の紹介があった。

また、副学長の陪席について説明があり、これを承認した。

◎ 平成29年度第1回議事要旨の確認

総務課長から、資料2に基づき説明があり、これを承認した。

◎ 議題

- 1 平成29年度人事院勧告等に伴う本学の対応（就業規則等の改正案）について
石川理事及び総務部長から、資料3に基づき、平成29年度人事院勧告等に伴う本学の対応及び国家公務員退職手当法の改正（予定）に基づく本学規則の改正概要について説明があり、審議の結果原案どおり了承され、学内の対応を進める手続きを行うこととした。

- 2 役員の退職手当の支給について

学長から、資料4に基づき、平成29年9月30日付け任期満了の理事にかかる退職手当の業績勘案率について提案があり、審議の結果、提案どおり了承された。

◎ 報告

- 1 平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果について

石川理事から、資料5-1及び5-2に基づき、平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果について、報告があった。

関連して、第1回の会議（6月21日開催）の審議を経て、一般財団法人教員養成評価機構に提出した教職大学院認証評価に係る自己評価書について、11月21日及び22日に札幌キャンパスにおいて訪問調査が行われたこと。今後、12月1日に函館キャンパスにおいて訪問調査が行われ、その状況を踏まえ、評価が決定さ

れる予定である旨報告があった。

【学外委員からの主な意見】

- 国立大学法人等の平成28年度評価結果に、特筆すべき点として掲載されている取組の中に、参考になる事例があると考え。今後に向けて、本学として参考にすべき取組を実施している大学に内容を確認するなど、業務改善に生かす工夫をしてはどうかと考える。

2 平成30年度（平成29年度実施）北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査登録状況等について

佐川理事から、資料6に基づき、平成30年度（平成29年度実施）北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査登録状況等について、報告があった。

【学外委員からの主な意見】

- 第1次検査の合格率が受検者の8割程度しかない現状は問題であり、大学の試験対策について責任を問われると考える。教員養成を行っている教員が、この現状についてどう考え、今後、どう改善していくのかを話し合う機会を持つべきである。
- 教員採用選考検査は受験対策が可能であり、対策により合格率を向上させることができる。他大学等がどのような対策を講じているのかを調査し、本学における受験対策の現状を変えていかなければ、教員への就職に対して大学が責任を持っているとは言えないと考える。
- 学生が本学に入学し、4年間、教員を目指して勉強したにも関わらず、約半数が教員採用選考検査で不合格となっている現状がある以上、教員を目指す受験生が本学への入学を志願しない状況に繋がる。このことについて、全教職員が危機感を持って対策を講ずるべきである。
- 私学が教員就職の分野に参入してきている。私学は、教員採用に繋がる実践的な教育が行われていると聞いている。従って、国立教員養成系大学以外の私学の状況も調査しながら、対策を講ずるべきである。
- 現役合格率の低さが、教員採用選考検査合格の困難さを強調するデータとなり、それが、学生の教員志向の低下に繋がる要因の一つであると思われるので、より一層、教員採用選考検査の対策を講じて、現役合格率を上げていくことが極めて重要であると考え。
- 北海道は教員養成を行っている大学が少なく、学生同士の情報交換がしにくい状況にあるため、受験対策に関する情報量が少ないのではないかと考える。
- 教員の給与や勤務条件について様々な報道があるが、教員の仕事は女性の中でも続けやすい業種であり、他の業種と比較しても勤務条件がよいと考える。40代、50代になっても教員の仕事を続けている先輩から話を聞く機会を作るなど、教員の仕事の魅力をきちんと学生に伝えていく工夫が必要であると考え。
- 教員を志望する学生を育てるため、青年海外協力隊等に参加させる仕組みを作

り、発展途上国での厳しい体験を通して、社会における教員の重要性をきちんと理解させるべきと考える。学生は、この期間（2週間程度）を通して、日本の教育のすばらしさを体感できるとともに、世界の人々との共生を学ぶ貴重な機会になると考えるので、高い語学力と豊かな国際感覚を有するグローバル教員養成の観点からも、積極的に導入を検討してほしい。

3 岩見沢校講義棟新営その他工事について

石川理事から、資料7に基づき、岩見沢校講義棟新営その他工事について、報告があった。

4 不適切な単位認定に係る教員の懲戒処分について

石川理事から、不適切な単位認定に係る教員の懲戒処分に関わるその後の経過について、報告があった。

5 札幌校のトイレ改修工事について

石川理事及び施設課長から、資料8に基づき、札幌校講義棟西側トイレの改修工事について、報告があった。

6 平成30年度概算要求額の伝達について

財務課長から、資料9-1及び9-2に基づき、平成30年度概算要求額の伝達について、報告があった。

7 財務レポート2017について

石川理事から、冊子資料「財務レポート2017」の作成について、報告があった。

8 北海道教育大学の近況について

総務課から、資料10に基づき、北海道教育大学の近況について、報告があった。

以 上